

花ちゃん・オー君・モンタ博士・フッタ博士のかくかくドド植立てててくら

国立市立国立第七小学校

平成29年6月12日 NO.26 (426)

花ちゃん 「梅雨の季節...蒸し蒸ししますね。」

フッタ博士 「『蒸し』と『虫』は関係あるかもね。これを見て。」(プラケースを見せる)

二人 「うわ〜っ! 何だかいっぱい虫がいるう〜!!」

フッタ博士 「はい。このゴマ粒みたいなのはスズムシの幼虫です。」

花ちゃん 「どうやってこんなにたくさん捕まえたんですか？」

フッタ博士 「捕まえたんじゃなくて、去年産んだ卵を取っておいて、そこから孵化(卵からかえること)したんだよ。最初はお店で買ったけど、こうして毎年毎年飼っているんだ。」

オー君 「これ、全部育てたら、秋には“♪リーン リーン”
ってやかましく鳴きますね。」

フッタ博士 「いや、この分だと7月後半から夏休みにかけて羽化(成虫になること)して、
秋にはもう死んじゃうと思う。」

モンタ博士 「日本では昔、こういう鳴く虫をお侍さんが家で養殖していたそうだよ。」

オー君 「えっ! 武士が虫マニアだったんですか？」

モンタ博士 「趣味じゃなくて仕事。『武士は食わねど高楊枝』。苦しい家計を助けるための
内職だったそう。侍が育てた鳴く虫を、行商の人が売り歩いたんだ。」

フッタ博士 「金魚の養殖をして品種改良したお侍さんもいたんだよ。」

花ちゃん 「昔の日本なら、いくらでも虫がいそうなのに、わざわざ買う人がいたのね。」

オー君 「虫の声を聴く文化があるんですね。」

フッタ博士 「季節を感じる風物詩のひとつなんだね。さて、そこでサンショウウオに続いて『スズムシを育ててみませんか』のお誘いです!」

オー君 「昆虫の育て方は3年生が理科で学習しますよね。」

花ちゃん 「スズムシを育てるのは大変ですか？」

★『モンタ博士から田植えのお知らせ』★ 明日13日(火)の中休みと昼休み、学校のミニ田んぼでイネの苗を植えます。希望する子は汚れてもよい服装や着替え、タオルなどを用意してください!

フッタ博士「^{しょしんしゃ}初心者でも大丈夫。^{だいじょうぶ}しかも私^{わたし}のように、^{さんらん}産卵させて^ふ孵化した^{ようちゆう}幼虫を^{そだ}育てる
^る累代飼育も^いしやすい。飼^かい方^{かた}は^{おお}多くの^{すかん}図鑑^{ほん}や本^でに出ているよ。」

花ちゃん「え〜と、^{えさ}餌は、^{にくしょく}キュウリやリンゴ、カツオブシやニボシ…あれれ肉食^{にくしょく}なんで
すか？」

フッタ博士「^{ざっしょく}雑食です。タンパク質^{しつ}をとらないと^{ともぐ}共食^{ともぐ}いしちゃう。私^{わたし}は^{きんぎょ}金魚の^{えさ}餌をあげ
てますよ。リンゴは^{かわ}皮や^{しん}芯で^{じゅうぶん}十分。カビが^は生えないうちに^と取り^か替えます。」

オー君「うっ。サンショウウオ^{ともぐ}みたい^{ともぐ}にまた共食^{ともぐ}い…。でも、^{たが}お互い^はピョンピョン跳ね
^{まわ}回るから、^{つか}捕まらない^{つか}んじゃないですか？」

フッタ博士「^{すど}鋭い！でも^{こんちゆう}昆虫には^{うご}動けない^{とき}時があるんだ。そのときに^{とき}やられちゃう。」

花ちゃん「^{だっぴ}脱皮の^{しゅんかん}瞬間^とですね！『^と止まる^{ばしょ}場所や^{かく}隠れ家^がを用^{ようい}意する。』って書いてあるわ。
あと、『^{かんそう}乾燥^{よわ}に^{きりふ}弱いので^{しめ}霧吹き^{むし}で^{むし}湿らせる。(虫^{むし}にかからないようにする)』です
って。^{むすか}難^{むすか}しそう。」

フッタ博士「私^{わたし}は^おシグザグに^{かみ}折った^た紙^たを立てています。^{きりふ}霧吹き^がの代^{みず}わりに、^{みず}水を^{みず}しみこま
せた^{ようき}ティッシュ^{すみ}を^お容器^おの隅^{えさ}に置^{えさ}いています。スズムシ^{えさ}マットとか^{えさ}餌^{えさ}のゼリー
も^{しはん}市販^{かね}されているけれど、^{かね}お金^{てま}をかけず^{あいじょう}に^あ手間^あと^あ愛情^あをかけて^あほしいな。」

オー君「^かぼくも^か飼^かってみようかな。」

フッタ博士「^{こんかい}今回は^{さとおや}里親^{がっこう}じゃないから、^{もど}学校^{もど}に戻^{もど}さなくていいです。^{かんさつ}じっくり^{かんさつ}観^{かんさつ}察^{かんさつ}して^{かんさつ}く
ださい。^{した}下の^{うち}きまり^{ひと}をお家^よの人^よとよく^{そうだん}読^{そうだん}んで、^{そうだん}相^{そうだん}談^{そうだん}して^{そうだん}く
ださい。」

サンショウウオのときには、お子様をご家庭でOKをもらう前に予約したり、友達と申し込んで忘れたり、いろいろありまして、ご迷惑をおかけしました。このときはモンタ博士が十分な数を採集してくれましたが、今回のスズムシは孵化数に限りがあるため申し込み方式とし、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。✂切;6月16日(金)までにモンタラボ(小会議室)前に用意した封筒に提出します。

①申し込み単位は1家庭に1セット(数匹ずつ)。引き渡しは6/21(水)以降。

②理科で昆虫の成長を学習するので、抽選の場合は3年生を優先。

③くわしい飼い方は各自お調べください。スズムシをお渡す方には事前にご案内します。

— — — — — きりとり — — — — —
スズムシ飼育希望 児童名 年 組 ()
飼育に同意します。保護者名 ()

※ 1家庭に1セット、3年生優先ですので、兄弟姉妹に3年生がいるときはそのお子さん名義でお願いします。

✂切;6月16日(金)までにモンタラボ(小会議室)前の封筒に提出します。